



ベルナ・チャイルドサポート通信

マンスリー・チャイルドサポーターをはじめモンゴルの子どもたちにご支援を賜ります皆様、いつもありがとうございます。今は、マイナス 30 度、真冬のモンゴル国・ダルハンの「24 時間保育園」「太陽の子どもたち」では多くの子どもたちが皆様のおかげさまで、元気に生活しています。



近況 2014 年 1 月外は気温 -20 度冷凍庫のようですが雪上を駆けまわって遊んでいました。建物の中は温かく 24 時間保育園の園児たちも元気です。

2012 年 4～7 月 活動報告

24 時間保育園・障害児施設・児童保護施設「太陽のこどもたち」の支援

日々の食事にも事欠く貧困家庭の幼児を月～金曜日まで 24 時間体制で預かり「子どもの命をつなぐ」幼稚園。

24 時間保育園 3ヶ所の保育園はモンゴル政府が主となり運営されています。

子どもたちは週末だけ親元で過ごします。その家庭の多くはシングルマザーで、バラック（よくない場所）と呼ばれるアパートの地下のボイラー室のような不衛生で罪もないような場所に住んでいます。多くの母親は過酷な環境に母性を失いかけて、アルコール依存症に、そして育児放棄された小さな子どもたちも 24 時間保育園で保育されています。

第 12 保育園では、保育に楽器演奏を取り入れています。子どものためには、親たちも幸せにならないといけないという園長先生のポリシーのもと、親への教育プログラムが実施されています。結果、元アル中や、子どもにどう接していいかわからなかった親達が少しずつ前向きに努力し、経済的な自立へむけて努力する親が増えてきたそうです。

愛情深い先生が手作りの教材で子どもたちを大切に育てているのは**第 15 保育園**です。

障害児施設 24 時間保育園のひとつ**第 10 保育園**ではダルハン唯一の障害児施設が併設されています。今まで未就学の障害児には教育の機会はありませんでしたが、ここで子どもたちをケア出来るようになりました。医師の常駐、適切な訓練・指導に併せ、歌やお遊戯の通常保育を受けることで、子どもたちに目を見張る成長がみられます。20 人のクラスに 12 人の障害児（7人は重度障害 5人は知的障害）と 8人の貧困家庭の子どもたちがいます。8人の健常児の子ども達は 12人の友達のお世話を助けて、双方にいい影響が出来ていると先生たちからも喜ばれています。

日頃の支援を含め、24 時間保育園のカーテン・カーペット・いす・テーブル、食器も新調することが出来ました。

児童保護施設 日本のいくつかの団体と協力しながら児童保護施設「太陽のこどもたち」を支援しています。

現地訪問のご報告 辻代表は現地の先生たちとの話し合い、農業支援、植樹などで、数回現地訪問いたしました。

5月自然農法のプロフェッショナル、スコットランド在住の愚道さんに、モンゴルの土地に合った方法で農業の指導を受け、先生や子ども達と一緒に「太陽のこどもたち」の農園を整地、野菜の種を撒き、農作業に汗を流しました。

2012年から、自然農法による「農業支援プロジェクト」が始動いたしました。

6月は東京の「ソロプチミスト立川」、「東京けやきの会」の皆様が「太陽のこどもたち」をご訪問くださり、施設と貧困家庭を見学されました。施設へ寄付金、文房具のご寄付、子どもたちと一緒に施設の庭に42本の木を植樹していただきました。先生たちのリクエストのモミの木と、赤りんご、青りんご、チェリーなどの苗木を植えました。大きく育つと3メートルにもなるモミの木がクリスマスツリーになったり、果樹が美味しい実を結ぶ日が楽しみです。

7月は関西から8名が施設を訪問しました。政府の支援で作られた水色に塗られた音楽棟で子どもたちは芸能の練習、2階では来日コンサートで販売するための切り絵や小物の裁縫作業をしていました。子どもたちと一緒に過ごし、野菜を収穫、庭で遊んだり。新しく入った子どもたちも生活に慣れていく様子を見て安心しました。



「一般財団法人ベルナ・チャイルドサポート」

2012年8月～2013年7月活動報告

子どもたちを日々支えて下さる皆さまいつもありがとうございます。ベルナ・チャイルドサポートでは、さらなる支援、活動の充実を図り2012年8月1日から一般財団法人となり新たな一歩を踏み出しました。

2014年を迎えモンゴル児童保護施設「太陽のこどもたち」の支援をスタートしてから7年目となりました。昨年も、立派に成長した子ども達が希望した大学や専門学校に入学・進学し施設を巣立ち、また新たに親をなくし傷ついた子ども達が施設に迎え入れられました。「24時間保育園」「障害児施設」では、100名の厳しい環境にいる幼児達が、通常の子どもの達と変わらない教育の中で元気に一年を過ごす事ができました。これもひとえに日本全国から寄せられた多くの皆様の暖かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。昨年は6月に東京と大阪で来日コンサートを開催でき、約2,000名の方々に子ども達の感動のステージをご覧いただきました。

来日時には、小学校で多くの日本の子ども達との感動的なイベントも持つことができ、また関西の里親との温かい交流の様子は、NHKでも放映されました。何より子ども達にとって嬉しかったのは、夢に見た憧れの東京ディズニーランドの舞台に、難関を突破して、モンゴル人として初めて立てたことでした。

おかげさまで、今年も7月に東京と関西でコンサートが出来る運びとなり、昨年、関西でのコンサートをご覧いただいた『国際ソロプチミスト神戸東』の方々が、創立30周年記念イベントとして関西コンサートを共催していただけることになり心強い限りです。

これからも国境を越えて、多くの方々と繋がりながら、困難に負けず精一杯生きる子ども達の幸せを願い活動してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。 2014年2月 代表理事 辻 由香里



新理事体制となりました。 設立時から関わり、関西の会員をまとめ活動を大きく支えてきました乗本奈穂美理事が2013年7月末で退任しました。新しく大木理事、吉村理事が就任し、代表理事・辻由香里、理事・浅羽勤、大木久子、吉村美奈子の新体制でスタートとなりました。一般財団法人としてさらに精進いたしますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

24 時間保育園・障害児施設

小さな子どもたちの命をつなぐ大切な保育園、併設されているダルハン唯一の障害児施設を支援しています。

太陽の子どもたち 2013年1月には選抜メンバーが、モンゴルの首都ウランバートルでコンサートをしました。

その利益は「24時間保育園」の運営費に充てました。施設では家事全般を子どもたちが分担し、切り絵、スリッパ作り、布製品の縫製、併設の工房ではパンを焼いて24時間保育園の給食に納入、夏場は野菜を作り、販売し収入を得たりもしています。

忙しい子どもたちですが勉強にも励んでいます。成績優秀で、日本・ロシア・英語などの外国語が得意な子が多いのも特徴です。

先生方・子どもたちはいつも自分たちの生活を支えてくれている日本の皆さまに感謝して生活していますが、甘えてばかりはいられないと、自分たちが出来る事を探しながらいつも頑張っています。

農業支援プロジェクト ピニールハウスが冬の寒さと風によりビニールがボロボロになっていましたので、5月にビニールを新調いたしました。ピニールハウスでは子どもたちが自分の担当の苗を大切に育て、夏には大きくて立派な無農薬キュウリをたくさん収穫することが出来ました。子どもたちが市場に売りに行き、施設の貴重な現金収入となりました。普段の食卓にも美味しくみずみずしいキュウリが登場、冬用の保存食、ピクルスにも加工できました。子どもたちや夏休み中で帰ってきていた大学生たちもクワを持ち、畑でよく働いていました。秋には、路地栽培の無農薬のじゃがいも・人参の収穫も出来ました。

大学生へ奨学金 2012年は「太陽の子どもたち」卒業生8名全員が優秀な成績で大学に合格しました。

病気のお母さんが貧困の為、病院にも行けず弱っていく姿に、幼少で何もできずに亡くしてしまった女の子ドヤー。彼女はお医者さんになる夢を持ち、猛勉強し、見事、国立医科大学に1番の成績で合格しました。

ガンディは国立芸術大学舞踊科に合格、国立農牧大学、イハ・ザサク大学には2名づつが合格いたしました。

ベルナ・チャイルドサポートでは2011年より、施設の卒業生の数名に奨学金の一部支援をスタートさせました。

モンゴルは9月から新学年になります。2012年8月には子どもの里親からの個人的な支援を含め、みなさまの支援金の中から6名に奨学金の全部または一部を授与いたしました。

2012年度	バヤラー	(モンゴル国立芸術大学・舞踊科4年)	バター	(モンゴル国立芸術大学・馬頭琴専攻3年)
	トゥルー	(モンゴル国立芸術大学・舞踊科2年)	ダンズン	(モンゴル国立農牧大学・1年)
	ピリグーン	(モンゴル国立農牧大学・1年)	ドヤー	(モンゴル国立医科大学・1年)

～ 2012年度 会計報告 ～

【収入の部】

2011年	繰越金	521,539
	月々の支援金(マンスリー)	3,572,037
	個人寄付金	289,000
	辻代表・物販売上など	137,350
	グロウアップ(自動販売機)	48,636
	口座利息	10,146

収入合計 4,578,708円

【支出の部】

施設へ送金	3,189,906
奨学金	472,684
HPや新聞制作	147,818
銀行手数料	852
さくらホール予約金	395,000
会計監査費用	11,707

支出合計 4,127,967円

残高(※2013年度へ繰越) 450,741円

★2013年コンサート収支★

【東京】	収入	4,031,900円	【大阪】	収入	3,425,779円
	支出	3,467,525円		支出	3,287,640円
	残高	564,375円		残高	138,139円
			合計残高		702,514円

★コンサート物販売上★

(先生・子どもたちの製作品)	
東京	81,900円
大阪	300,400円
合計	382,300円(施設に送金)



一般財団法人ベルナ・チャイルドサポート 〒150-8790 東京都渋谷区恵比寿西1-35-16 アドブルビル2階

E-mail info@bernachild-support.org

<http://www.bernachild-support.org/>

Angel's World チャリティコンサート



2013 東京・大阪コンサートのご報告



6/18～7/2 子どもたち14名、先生4名が来日 2年半ぶりに、Angei's World チャリティコンサートを開催しました。ホーミー、馬頭琴演奏、舞踊、曲芸、歌、色とりどりの衣装に身を包み、いつも笑顔いっぱいの舞台です。素晴らしい演技に観客のみならず温かい拍手をいただき、感動したとお褒めをたくさんいただきました。また、多くの企業・個人様の協賛、ホームステイやコンサートスタッフのご協力、モンゴル人留学生たちの通訳ボランティア、大勢の皆様がコンサートの運営を支えてくださいました。子どもたちはホームステイ先でそれぞれの家族の一員として大切に迎えられて過ごし自分に家族が出来たことは何よりの喜びとなり、ますます練習・勉強に励みます。そして、いつかお兄さんお姉さんたちのように自分も日本に行きたいと小さな子たちも一生懸命練習を積んでいます。子どもたちは日本の皆様に出会えることをとても楽しみに毎日、練習に励んでいました。又、コンサートには来れなかった子どもたちも、来日する子の食事・掃除当番を快く引き受けて送り出しコンサートを陰ながら支えてくれています。



大阪コンサートのオープニング（全員） ☆モンゴル国立芸術大学・舞踊科のふたりの踊りは圧巻 ☆会場中から、手拍子の嵐が起きました。初来日はバアスカ、オユカ、シンネ、ソッコの4人。日本でお誕生日を迎え、お祝いのケーキを前に涙ぐんだオユカ。コンサートや活動の様子は新聞数紙に掲載されました。NHKテレビ（大阪）からも取材を受け、関西のホームステイ先で家族と楽しく過ごす子どもたちのリラックスした表情、家族から受け取る温かい心の交流、コンサートでは素晴らしい歌や踊りを披露してくれた、バヤラーとアリウカとその家族を中心にした約7分間の特集が放送されました。☆6月19日（水）東京：渋谷区さくらホール 特別ゲスト・横綱・白鷲 ☆6月29日（土）大阪：クレオ大阪中央

「東京ディズニーランド」に出演しました！

「太陽の子どもたち」が、東京ディズニーランドのミュージックフェスティバルに出演させていただきました。開園30周年、夢の国でパフォーマーとして舞台に立った子どもたちの心に一生残る宝物の思い出になりました。ラッキーナゲットステージ・2013年6/22（土）10時～20分間・出演 モンゴル人では初めて出演の快挙でした！



☆ 2013フライヤー ☆ エレデネ先生の部屋に記念品が大切に飾られています。☆子どもたち全員の協力が来日コンサートを成功させます。

編集後記：通信の発刊がたいへん遅くなりましたことお詫び申し上げます。